

「グリーンラインを愛する会」の「捨てられ犬保護活動」

捨てられ犬の保護活動は本当に大変な活動です。
安易や同情心や「犬が好き」だけでは、とうてい継続的な活動は不可能です。



捨てられ犬発見!

無事保護成功!



なかなか保護できないことや、かまれそうになったり、病気をうつされたりする危険も・・・
やっと保護できても保護したあとが本当にたいへんなのです。

まず動物病院へ

病気はないか?
ダニや寄生虫は?



心に傷を負った彼らに
もう一度人を信じられるように
愛情をたっぷり注いでやります。

一時預かりスタッフや
里親を探すため
ポスターやチラシを作ります。



時には新聞など
マスコミの協力も。



そしてやっと彼らに新しいくらしが・・・

でも・・・「一時預かりスタッフ」は安ど感よりも、
「別れのさみしさ」に耐えなければなりません。
「里親様」も、時には「心におおきな傷を負い」
「新しい環境に不安を抱え」
「悪い習慣やPTSD(精神傷害)を抱える」犬と、
本当の飼い主になるための大変な生活が待っています。

そのような「捨てられ犬保護活動」を
お互いに支え合い、感謝し合うために、
「グリーンラインの犬たちの会」は誕生しました。 (4)